

# 京都市 環境モデル都市行動計画(素案)

## 環境モデル都市 中長期削減目標

中期目標 2030年 40%削減 (1990年比)

長期目標 2050年 60%削減 (1990年比)

目標の実現

## 環境モデル都市 シンボルプロジェクトの推進

人が主役の道づくり、まちづくりを目指す「歩くまち・京都」戦略

「歩くまち・京都」市民会議

### モビリティ・マネジメント施策の継続と拡大

・「エコ通勤」などのモビリティ・マネジメント施策を地域、学校、企業、転入者、運転免許保有者、観光客など幅広い対象へ拡大して継続的に進め、公共交通の利用を促進する。

### 高機能バスのモデル的運行

・南部開発地域の通勤手段としてのルートや市内の観光地を巡るルートへの高機能バスのモデル的運行に向けた取組により環境にやさしく利便性の高い公共交通システムを実現し、観光施策と一体化となった公共交通の利用促進を図る。

### トランジットモール化と周辺の自動車流入抑制

・市内最大の繁華街、四条通での歩道拡幅による快適な歩行空間の確保とマイカーから公共交通への転換を図るための公共交通優先の取組を内容とするトランジットモール化と南北にある歴史的細街路での自動車流入抑制により一体的な歩行者中心のエリアの確保と賑わいの創出を実現する。

### 「CASBEE 京都」の策定と低炭素建築物認証制度の創設

・「CASBEE 京都」を核とした低炭素景観認証制度を創設し、表示による啓発や優遇措置を実施することにより、低炭素で景観へ配慮した良好な建築物の供給を目指す。

### 「低炭素景観ハイブリッド型住宅（平成の京町家）」のモデル建設

・低炭素で景観に配慮した「低炭素景観ハイブリッド型住宅（平成の京町家）」を事業者と連携してモデル的に建設し、低炭素で良好な建築物の供給を目指す。

### 市内産木材利用（地産地消）の促進

・消費者への情報提供などを行う「京の山杣人（そまび）工房」、独自の表示制度の運用やリフォーム用木材の一部提供を行う「みやこ杣木（そまぎ）事業」により市内産木材利用を促進する。

### 「新景観政策」による低炭素型まちづくり

・建築物の高さの規制、デザイン規制強化、屋上・点滅広告物の禁止、木造化の推進等により、長期的な効果として大幅な二酸化炭素の排出削減を実現する。

### 廃棄物を徹底的に活用したエネルギー創出事業

・使用済みてんぷら油のバイオディーゼル燃料化事業の内外での技術協力を進めるとともに、生ごみ等の分別収集によるバイオガスの高度利用技術による新たなエネルギー生成を目指したわが国初の実証実験を行うなど、廃棄物を徹底的に活用したエネルギー創出事業を進める。

### エコポイントとカーボン・オフセットによるエコ活動市民参加の仕組みづくり

・家庭の省エネ取組分をポイントに換算し、買い物に使えるエコポイントモデル事業や、イベントや商品・サービスによる排出分を企業やNPO等の削減努力で埋め合わせるカーボン・オフセット制度及び市民がエコ活動に参加できる仕組みをつくる。

### 2R（リデュース・リユース）型エコタウンづくり

・市民、事業者と共に「2R型エコタウン構築事業」を展開し、温室効果ガス排出削減にもつながるごみの発生抑制（Reduce）と再使用（Reuse）を重点においたまちづくりを進める。

### エコサポーターなどによる「エコ町内会」「エコ学校」「エコ企業」づくり

・「京エコロジーセンター」が養成した「エコサポーター」などによる「エコ町内会」づくり事業を全小学校区実施に向けて推進するほか、市民、事業者による「エコ学校」「エコ企業」づくりを促進する。

「低炭素景観の創造」を目指す「木の文化を大切にすまち・京都」戦略

「木の文化を大切にすまち・京都」市民会議

“DO YOU KYOTO?” ライフスタイルの転換と技術革新

環境にやさしいライフスタイルを考える市民会議

「地域力」